

若者マチナカ会議

八戸の魅力は？

I、Uターンの3人講演

八戸市は23日、若者の地元愛着心を高めてまちづくりにへの参画を促進しようとして、同市のYSアリーナで「若者マチナカ会議」を開いた。UターンやIターンを経て市内で活躍する3人のゲストスピーカーが、八戸の魅力について講演。高流。知らないことをたくさん校生から40代までの市民約40人が熱心に耳を傾けた。講演したのは、アートコ

ーディネーターの今川和佳子さん、南風農園の水野美香さん、八戸学院大学長特別補佐の玉樹真一郎さん。

今川さんは写真家の田附勝さんと市沿岸部を巡り、漁師や住民たちと交流。知らないことをたくさん校生から40代までの市民約40人が熱心に耳を傾けた。講演したのは、アートコ

けたら」と話した。

南郷地区でニンジンを作っている水野さんは、八戸は農地が広い上、冷涼で病害虫が少ないことをメリットに挙げたが、「水産や工業に比べて、農業への支援が少ない」との苦言も呈した。

玉樹さんは「田舎対都会」の概念はもはや古いとして、田舎と都会を足した「多拠点生活」を提言。「収入の減少以上に得られる幸福は、自然や子育ての環境、食の豊かさなどカバーして余りある」と強調した。

講演する玉樹真一郎さん



(松橋広幸)